

都市再生整備計画(第5回変更)

ほくぶけんこうちく
北部健康地区

あいちけん おわりあさひし
愛知県 尾張旭市

平成21年8月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	愛知県	市町村名	尾張旭市	地区名	北部健康	面積	778 ha
計画期間	平成 17 年度 ~ 平成 23 年度	交付期間	平成 17 年度 ~ 平成 21 年度				

目標
 【目指します、健康都市】
 「健康」は市民全ての願いであり、「健康づくり」は本市が最も力を入れている施策です。「健康づくり」というと保健・医療の分野にとらわれることが多く、市民も行政もそちらに関心がいきがちでした。もちろんその部分が重要であることは言うまでもありませんが「健康づくり」をより一層進めるには環境・教育・まちづくりなどさまざまな分野からの参画が必要です。
 本計画では『みんなで支えあう健康のまちづくり』『心健やかに暮らせる安心・安全のまちづくり』『自然が身近に感じられるやすらぎの環境』など健康に欠かせない3つの目標に向かって事業を進めていきます。

目標設定の根拠
 まちづくりの経緯及び現況
 ○まちづくりの経緯
 『名古屋市に隣接する良好な住宅都市』・・・尾張旭市は市北部に「森林浴の森100選」に選ばれた森林公園が立地しているという優れた環境特性和、母都市名古屋の中心までの所要時間が電車で約20分の距離であり通勤通学に便利という立地条件から、住宅の供給が盛んで住宅都市の性格を強めてきました。また、土地区画整理事業を積極的に推進しており、計画的に整備された市街地が広がっています。
 『豊かな自然環境』・・・市域面積の1/6を占める森林公園をはじめとして、樹林地や公園、大小のため池を有しています。また、平地部では農地が守られ、2005年愛知万博会場地の東部丘陵を源とする矢田川や天神川が流れ、緑地が点在しているなど身近なところで豊かな自然にふれあうことができます。
 『バランスのとれたまち』・・・ショッピングセンターなどの生活施設や鉄道など公共交通機関が整い、利便性の高い都市であると同時に恵まれた自然が広がっている、東西・南北それぞれ約5Kmの市域をかかえる青年都市です。また、市域の中央部には市役所をはじめとする公共機関が集中しています。際立った都市のイメージは希薄ですが、コンパクトな市域のなかで、都市の利便性と豊かな自然環境を整えたバランスの良さが特徴となっています。
 ○まちづくりの現状
 尾張旭市第4次総合計画(H16～H25)において「ともにつくる元気あふれる公園都市」を将来像とし、実現に向けた取り組みとして8つの政策を基本とした事務事業を進めています。全ての事務事業について行政評価の考え方を導入し、成果指標を設定しています。併せて、まちづくり総合支援事業として平成12年度より平成16年度まで街路事業、下水道事業、土地区画整理事業を行ってきました。
 ○まちづくりの方向性
 尾張旭市では西太平洋地域(アジア・オセアニア)の19都市(平成16年10月1日現在)からなる同地域の「WHO健康都市連合」の設立メンバーとして加盟が認められました(平成16年5月15日)。「WHO健康都市連合」の設立メンバーとして健康都市プログラムを実践していくため、「健康づくりのまちづくり」を重点課題として取り組んでいきます。
 ○実現に向けて
 これからの健康都市とは、これまでの「保健・医療の充実した都市」をいうのではなく、市民の健康をまちづくりの中心に据え都市全体がそれに向かって力を合わせていく都市のことをいいます。「尾張旭ブランド」＝「健康都市」をつくるため、「WHO健康都市プログラム」の基本理念に基づき、社会全体で市民の健康を支えていくまちを目指し市民の健康をまちづくりの真ん中に据え、市民と協働して健康都市づくりを目指していくことを、広く市民はもとより国内外に向けてアピールしていきます。

課題
 「健康都市」にむけて下記の課題実現に取り組めます。
 【体と心の健康】 WHO健康都市プログラム、自然とふれあう場や散策道の提供などにより、市民の体と心の健康増進をすすめます。
 【まちの健康】 秩序ある街並み、やすらぎのある公共空間を整備することにより、市民が安全にまちとふれあう環境をつくります。
 【社会の健康】 子育て支援・安心して子供が預けられ働くことができる環境をつくることにより、みんなで支えあう社会づくりを進めます。
 【文化の健康】 ウォーキング大会や各種スポーツ教室、NPOによる文化遺産、ふるさと紹介活動により知性と豊かな心を育むまちづくりをすすめます。

将来ビジョン(中長期)
 第4次総合計画(H16～H25)では将来の都市像を「ともにつくる元気あふれる公園都市」とし、実現に向け情報の共有を一層進め、市民・事業者・行政がお互いに自主性を尊重し、それぞれの特性を活かしながら「協働」によるまちづくりを進め、まちじゅうに元気があふれ、まち全体がまるで公園のように快適でやすらぎのある、いつまでも住みつづけたくなるまちをめざします。
 尾張旭市では「健康づくりのまちづくり」を最重要施策に掲げ、積極的な取り組みを行ってきました。ウォーキングマップの作成、ウォーキング大会や各種スポーツ教室、市民総元気まる作戦の展開、公民館への血圧計の設置、また、健康づくり推進員制度を創設した健康づくり教室の開催などを進めるなど、保健・医療・運動の面から市民の健康づくりを進めてきました。
 しかし、さらに市民の健康水準を上げるためにはさまざまな分野から「健康づくり」に取り組まなければなりません。こうしたなか、何より大切なのは、これまでは一見、健康とは無関係に思えるような施策も健康という新たな視点で見直すことや、健康という付加価値を創出することであると考えます。
 本計画では市保健福祉センターを中心とした健康推進事業、スポーツ普及事業、自然環境づくりの拠点として維摩池水環境総合整備、それにつながる散策道、シンボルロード整備、市中心部の東西に走る名鉄瀬戸線沿線に旭前城前地区、北原山地区の土地区画整理事業、同事業に併せた下水道事業、道路事業、名鉄旭前駅の自転車駐車場整備、藤池保育園の増築、茅ヶ池保育園の新築、尾張旭駅、三郷駅のバリアフリー化、公共交通網整備事業、バス購入事業、事業効果分析調査など尾張旭北部健康地区として整備をしていきます。

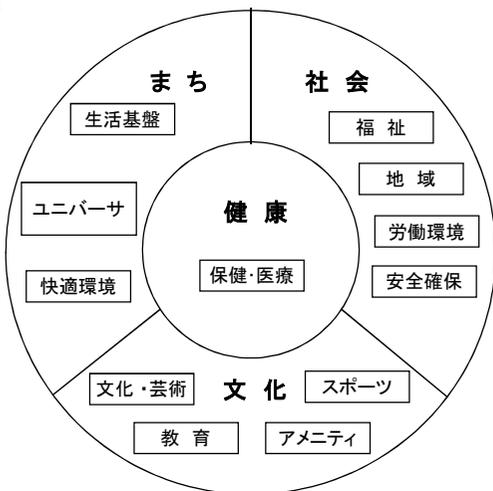
目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
健康だと思ふ市民割合	%	第4次総合計画によるアンケート調査	成果指標を行っている市町村では見られない高い目標として90%を目指す。	83.4	H14	90	H21
健康づくり教室・元気まる測定参加者数	人	健康づくり教室、元気まる測定参加者	健康増進事業の推進により、市民の健康増進に関する意識が高まり、健康づくりに取り組む市民が増える。	3707	H14	5500	H21
秩序ある街区となっている市街地面積割合	%	区画整理済み及び開発済面積/市街化区域面積	市街地整備が推進され、安全・安心の秩序ある街並みが形成される。	40	H14	53	H21
保育園満足度	%	保育園に通園する3・4歳児の保護者へのアンケート調査	現状値は85%以上と高い満足度ではあるが、不満を訴える層も14.7%いる。理由としては保育料、保育時間、保育士の対応等の指摘である。今後、保育料の適正化や様々な就労形態への対応、保育士の資質向上を図る。また、保育園に「子育て支援センター」を併設し、地域や保護者との距離をちりめ満足度向上を図る。	85.3	H14	90	H21
散策路の整備率	%	散策路の整備延長/整備計画延長(9.5km)	自然・動植物・水辺に親しめる空間が整備されている。	4	H14	100	H21

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>・整備方針1 WHO関連健康推進事業、自然とふれあう場や散策道の提供などにより、市民の体と心の健康増進をすすめます。WHO関連健康推進事業としては、健康相談・体力測定を無料で行なう市民総元気まる事業、WHO健康都市プログラムを実践するWHO健康都市推進事業、市民の生命を守るためAED設置普及事業、健康づくり推進員による健康増進普及事業を行なっています。また、市民の健康維持・増進を図ることはもとより、市民スポーツの普及としてのスポーツ教室事業、地域スポーツの振興を図るため市民誰もが気軽に楽しむことができるニュースポーツ普及事業、総合体育館の耐震化、トレーニング室の改修を行ないます。市民の健康増進施設への足として、市役所を拠点とした公共交通網の整備およびその普及のためバスの購入を行います。自然とふれあう場の提供としては、水環境整備事業、尾張旭駅から続くシンボルロード整備事業、泉宮森林公園南門開放等、市民が自然とふれあえる場づくりとして市北部の整備を現在進めています。引き続き山辺の散歩道事業、シンボルロード整備事業を行い市民が身近に自然とふれあえる場づくりを提供します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・WHO関連健康推進事業(提案事業) ・スポーツ普及事業(提案事業) ・山辺の散歩道整備事業(提案事業) ・シンボルロード整備事業(関連事業) ・公共交通網整備事業(提案事業) ・バス購入事業(提案事業) ・事業効果分析調査(提案事業)
<p>・整備方針2 秩序ある街並み、やすらぎのある公共空間を整備することにより、市民が安全にまちとふれあう環境をつくります。土地区画整理事業による生活基盤の一体的整備をすることにより、安全のまちづくりを進めます。特に旭前城前・北原山地区は旧市街地で市街化率も高く道路も狭隘であるため、道路、公園、コミュニティー施設、下水道を整備することにより、活気あふれるまちを再生します。併せて、旭前城前地区内の名鉄旭前駅には自転車駐車場を整備します。人にやさしいまちづくりを進めるため、名鉄尾張旭駅にはエレベーターを設置、名鉄三郷駅北口を車椅子対応としてのスロープ設置工事を行います。また、市道霞ヶ丘線の東名印場橋部分を供用開始及び市道旭ヶ丘北山1号線の交差点改良をします。関連事業として平成17年度に近隣公園(1.8ha)を印場特定土地区画整理組合にて整備を行ないます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・旭前城前特定土地区画整理事業(基幹事業) ・北原山土地区画整理事業(基幹事業) ・地域生活基盤施設(基幹事業) ・下水道事業(基幹事業) ・高質空間形成施設(基幹事業) ・道路(基幹事業) ・印場特定土地区画整理事業(関連事業)
<p>・整備方針3 子育て支援・安心して子供が預けられ働くことが出来る環境をつくることにより、みんなで支えあう社会づくりを進めます。平成15年度保健福祉センターに子育て支援センター開設、現在、平成16・17年度に子育て支援センター併設3歳児未満専用の西部保育園分園を新設しています。平成17年度には耐震診断の結果、南園舎建替え工事及び子育て支援センター新設を含む藤池保育園の増築工事を行ないます。平成19年度には旭前城前特定土地区画整理事業により移転補償対象となる老朽化した茅ヶ池保育園を子育て支援センターを併設する保育園として用地取得及び新築します。上記事業により、園舎を建替え耐震化整備することにより園児等の安全を図ります。また、3歳児未満保育拡充による保育園充足率100%や、子育て支援センターを市内4箇所に開設し地域の子育て家庭に対する育児支援を行なうことにより保育園の満足度の資質向上を図ります。尾張旭市では保育園の満足度向上や子育て支援センター拡充など子育てしやすい環境づくりを積極的に行なうことにより、安心して子供が預けられ働くことが出来る環境を整えます。子育てしやすい環境は子供の人口を増やすことにつながり、今後、最大の課題である少子高齢化の解消や市人口の増加など、市政の安定につながると考えます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・藤池保育園増築工事(提案事業) ・茅ヶ池保育園新築工事(提案事業)

その他



○健康都市にむけて

健康を維持するということは、どちらかというと個々の責任にされてきた感があったが、実際は私たちの健康は個人の努力ではどうにもならないことが多く、それが複雑にからみ合っているのです。そこで、一人ひとりの健康水準を上げていくため社会を整えていく、言い換えれば社会全体で市民の健康を支えていくまちをつくっていくというのが健康都市プログラムです。

○都市再生整備計画

・整備方針1では保健福祉センターでのWHO関連健康推進事業、市北部整備事業(シンボルロード整備・維摩池水環境整備・森林公園南門開放・山辺の散歩道)による自然とふれあえる場の提供により、ジョギング大会やウォークラリー等さまざまな催しにより市民の健康増進をはかります。これにより『文化の健康』づくりがはかられ、ひいては『体と心の健康』づくりがはかられると考えます。

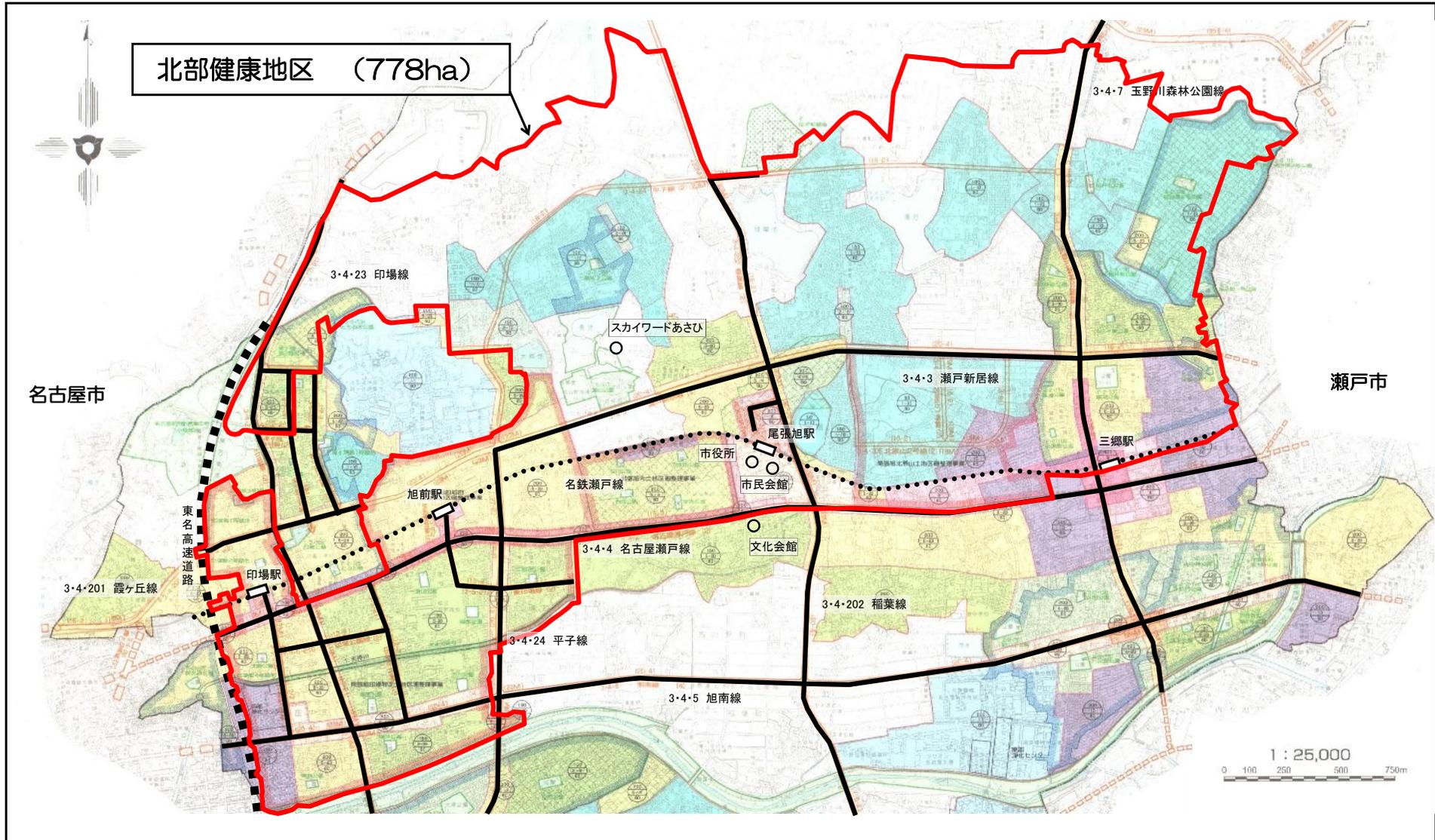
・整備方針2では土地区画整理事業により防災上の危険箇所を解消、市民が安心して出歩けるためのまちづくりが出来ると考えます。旭前城前地区では併せて下水道の整備、自転車駐車場を整備します。市内の公園の94%は土地区画整理事業により整備されており、これからも市民に安らぎのある場所を提供し続けます。これにより『まちづくりの健康』づくりが図られると考えます。

・整備方針3では少子化・子育て不安などの社会問題を解消するものとともに男女共同参画を推進するため子育て支援センターを併設する保育園新設事業により、地域のなかで安心して楽しく子育てが出来ることが整います。これにより『社会の健康』づくりが図られると考えます。

・市民の健康を守るという当たり前のことが今ほど重要になっているときはありません。この都市再生計画を行うことにより市民の健康増進に関する意識がさらに高まり、よって健康づくりに取り組む市民が増えると考えます。

都市再生整備計画の区域

<p>北部健康地区(愛知県尾張旭市)</p>	<p>面積 778 ha</p>	<p>区域 尾張旭市旭ヶ丘町の一部・旭台の全部・旭前町の一部・新居町の全部・印場元町の一部・大字新居の一部・大久手町の一部・柏井町の全部・霞ヶ丘町の一部・北原山町の一部・北山町の一部・桜ヶ丘町の一部・三郷町の一部・庄中町の一部・城前町の一部・城山町の全部・東栄町の全部・西大道町の一部・東印場町の一部・東大久手町の全部・東大道町の一部・平子町の一部・平子ヶ丘町の全部・南原山町の一部</p>
------------------------	----------------------	---



北部健康地区(愛知県尾張旭市) 整備方針概要図

目標	目指します、健康都市	代表的な指標	健康だと思ふ市民割合 (%)	83.4 (14年度)	→	90 (21年度)
			秩序ある街区となっている市街地面積割合 (%)	40 (14年度)	→	53 (21年度)
			保育園満足度 (%)	85.3 (14年度)	→	90 (21年度)

